

科目名	臨床薬理学 Clinical Pharmacology		担当教員 (研究室番号)	林 辰弥 (507)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	tatsuya.hayashi@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次前期	科目区分	専門支持科目		選択区分	必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
科目目的	現代の医療における薬物療法の重要性は周知の事実で、いずれの診療科でも薬物療法は必要不可欠であることから、医療現場において、看護師が薬物を取り扱う機会は益々増加すると考えられる。本講義では、薬理学総論及び看護師が知っておくべき代表的な薬物の作用機序・適応・副作用・注意事項などを学び、それらに関して、生理学、解剖学、生化学などで学んだ基礎知識を背景に、論理的に理解する。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
	関連するDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)										
到達目標	薬物の作用機序、体内動態、薬効に影響する因子、有害作用、管理法などを理解できる。 抗感染症薬、抗がん薬の作用機序を理解できる。 免疫治療薬、抗アレルギー薬・抗炎症薬の作用機序を理解できる。 末梢神経、中枢神経作用薬の作用機序を理解できる。 循環器系作用薬の作用機序を理解できる。 呼吸器・消化器・生殖器系作用薬の作用機序を理解できる。 物質代謝作用薬の作用機序を理解できる。											
成績評価方法(基準)	出席日数(3分の2以上を必要とする) 定期試験(90%)、レポート(10%)											
再試験の有無と基準等	再試験は教員が必要と認めた場合、不合格者全員に対して実施する。											
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 医学書院											
参考書等												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	薬物の作用機序、効果およびその副作用の理解には、1年次の生化学の知識が不可欠です。講義の中でも生化学の知識の反復を心がけますので、講義内容が難しいかもしれませんが、生化学の知識を思い出しつつ、ついてきてください。講義の目的は、科学的思考に基づいて論理的に薬の作用を理解してもらうことです。疑問点などがあつたら、講義中、講義後にかかわらず質問し、積極的に講義に参加し、能動的に勉強して下さい。											
備考												
回	学習項目					学習内容					担当教員	授業方法
1回	薬理学総論 薬理学を学ぶにあたって					薬物による病気の治療、薬理学とはなにか					林	講義
2回	薬理学総論 薬理学の基礎知識					薬が作用するしくみ(薬力学)、薬の体内挙動(薬物動態学)					林	講義
3回	薬理学総論 薬理学の基礎知識					薬の体内挙動(薬物動態学)、薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性					林	講義
4回	薬理学総論 抗感染症薬					薬と法律 感染症治療に関する基礎事項					林	講義
5回	抗感染症薬					抗菌薬各論、抗真菌薬・抗ウイルス薬・抗寄生虫薬					林	講義
6回	抗感染症薬 抗がん薬					感染症の治療における問題点 がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論					林	講義
7回	免疫治療薬 抗アレルギー薬・抗炎症薬					免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬					林	講義
8回	抗アレルギー薬・抗炎症薬 末梢での神経活動に作用する薬物					炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬 神経系による情報伝達、自律神経系作用薬					林	講義
9回	末梢での神経活動に作用する薬物					交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬					林	講義
10回	中枢神経系に作用する薬物					中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬					林	講義
11回	中枢神経系に作用する薬物					抗精神病薬、抗うつ薬・気分安定薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬、片頭痛治療薬					林	講義
12回	循環器系に作用する薬物					降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬					林	講義
13回	循環器系に作用する薬物					利尿薬、脂質異常症治療薬、血液凝固系・線溶系に作用する薬物、血液に作用する薬物					林	講義
14回	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物					呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物					林	講義
15回	物質代謝に作用する薬物					ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン					林	講義

## 学 習 課 題

実務経験を活かした教育の取組